

民泊の衛生

【健康で快適に過ごせる住宅宿泊事業(民泊)を目指して】

宿泊料を受けて住宅に人を宿泊させる民泊にあっては、宿泊する人が健康で快適に過ごせるよう、日頃から清掃や防虫に取り組む必要があります。

ついては、この手引きを活用し、民泊の空気環境、衛生害虫、取扱者の衛生管理などについて、日々のチェックをしてください。

[民泊自主管理チェック表（リンク）](#) を記入する際にも活用してください。

— 目 次 —

I	室内環境	1
1	換気	1
2	浴室の管理	3
3	トイレの管理	5
4	台所の管理	6
5	給水管理	11
6	排水管理	11
II	衛生害虫等	11
1	ゴキブリ	11
2	ダニ	12
3	トコジラミ（南京虫）	13
III	ネズミ	14
IV	ゴミ処理	14
V	取扱者の衛生管理	15
1	手洗い	15
2	ノロウイルス食中毒対策（消毒方法）	16
3	新型コロナウイルス対策（予防・消毒方法）	18
VI	その他参考事項	22
	民泊サービスにおける衛生管理	23

令和2年7月（令和4年1月改訂）

広島県健康福祉局食品生活衛生課

I 室内環境の注意ポイント

1 換気

新鮮な外気を取り入れ、室内の汚れた空気を入れ換えることで、燃焼器具や建材等から発生する有害な化学物質を減らし、湿気によるカビやダニの発生を防ぐことができます。

近年は、冷暖房を効率よく行うため、気密性の高い建物が増えており、自然換気が少なくなっています。窓を開けたり換気扇を用いたりして、積極的に換気をするよう心掛けましょう。

窓や壁、建物のすき間から自然に空気が入れ替わりますが、コンクリート住宅では木造住宅に比べ自然換気は1 / 2程度になります。(出典:室内環境学概論)

【注意ポイント】

- (1) 湯沸器、ガスコンロなどの使用時は常時、換気扇を回しましょう。
- (2) 暖房時には、1時間に2～3分程度、窓を開放しましょう。特に開放型暖房器具（燃焼後の排気を室内に放出するもの）を使用する時には注意が必要です。
- (3) 冬場に窓開けを行うと、一時的に冷気が入り室温が下がりますが、天井や壁など、室内自体が暖まっていますので、比較的早く元の温度に戻ります。また、冷房時も同様に換気に注意しましょう。
- (4) 冷風が直接体に当たることによる冷房病、室内の高温多湿による熱中症など高齢者等は特に健康障害を起こさないよう注意が必要です。

次の基準を目安にしましょう。

- ① 温度：17℃以上 28℃以下
- ② 湿度：40%以上 70%以下

- (5) 湿度が60%を超えると、カビやダニが発生しやすく気管支ぜん息やアレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患の原因となります。特に冬場は、窓ガラスや北側の壁、押入れ等が結露しやすく、結露した水が原因でカビが発生することがあります。

○ 夏型の結露：エアコンで冷やし過ぎの部屋や、地下室などで発生

○ 冬場の結露：冷たい窓ガラス表面、壁面、壁の中などで発生

逆に、湿度が低すぎると、のどや気管支の粘膜が乾燥し、のどを痛めたり、インフルエンザウイルスが体内に侵入しやすくなります。

- (6) 冬場や暖房機器を使うと乾燥が進み加湿が必要となる場合があります。加湿器の清掃や消毒を怠ると、加湿器のタンク内で繁殖した細菌やカビが水滴とともに室内に飛び散り、細菌を吸込むと感染症（レジオネラ肺炎等）を引き起こす場合があります。

加湿器の水は毎日取り替え、タンク内やフィルターなどを定期的に清掃するようにしましょう。

こちらを参照 ⇒ 正しい加湿器の使い方

※ 超音波式や蒸気式のタイプがあります。

- (7) エアコンの清掃を怠ると、エアコン内に蓄積したホコリやカビが室内にまき散らされてしまいます。除湿器やエアコンのフィルター等が目詰まりを起こすと、風量が落ち、カビが付着して増殖するので、定期的に点検し清掃しましょう。

Q 1 換気は必要ですか

A1 人が居続けた部屋の空気は、湿気や臭いだけでなく、埃や浮遊する雑菌等によっても汚染されることから、快適な住環境を維持するためには定期的な換気が必要です。

換気が必要な理由は他にもあります。

●室内への有害物質の蓄積

建材や接着剤から揮散するホルムアルデヒド（シックハウス症候群の原因物質の一つ）のほか、外出した際に衣類などに付いた花粉、PM2.5といったアレルギー症状の原因物質が室内に留まってきます。

●結露の発生

石油ストーブやファンヒーターなどの暖房器具を使用すると、室内に水蒸気が放出され、外気との温度差で結露が生じることがあります。

結露は、柱の腐食やカビ発生の原因にもなります。

●二酸化炭素濃度の上昇

気密性の高い部屋では、呼吸によって排出された二酸化炭素の濃度が上昇し、息苦しさや頭痛を起こすこともあります。

Q 2 換気の方法を教えてください

A2 換気扇やエアコンで室内の空気を排出する。

●対角線上で窓を開け、新鮮な空気の流れを作りましょう。

エアコンや空気清浄機には、空気中の浮遊物は除去できても、外気を取り入れる機能がないものもあるので、定期的に窓を開けましょう。

●1時間に室内の半分以上の空気を入れ替えることが理想的です。

1か所だけでなく、2か所の窓を開けて空気の通り道を作ると、換気の効率がアップします。2つの窓が対角線上に位置していれば、さらに効果が高まります。その際、風が入ってくるほうの窓を狭く開けるようにして、出ていくほうの窓を広く開けるのが、上手に換気するコツです。

●部屋に窓が1つしかない場合は、扇風機やサーキュレーターを窓の外側に向けて配置することで、室内の汚れた空気が外へ出やすくなります。

●「台所に設置されている換気扇」は、家にある換気設備の中でも特に排気量が大きいので、お料理をしていないときにも回していただくことで窓開け換気のサポートをしてくれます。

Q3 新型コロナウイルス感染症対策のための換気方法は

A3 基本的な感染予防対策は「3密」の防止ですが、特に、密閉空間においては定期的な換気が重要となります。1時間ごとに5～10分程度を目安とし、なるべく回数を増やすのが理想的です。

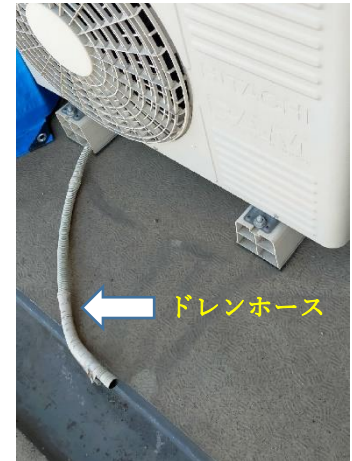
Q4 換気を目安について

A4 必要換気量を目安は、室内の二酸化炭素濃度が1000ppm以下を満たせば「換気の悪い密閉空間」には当てはまらないと考えられています。
二酸化炭素濃度系(CO₂モニター)等で濃度を確認することができます。
換気は、30分ごとに1回、数分間窓を全開することが基本となります。

【その他エアコンのトラブル】

Q5 エアコンから水が出る

A5 エアコン内で発生した水は、室外機近くのドレンホースから排水されますが、ここが詰まると、行き場のなくなった水が室内機から漏れ出ることがあります。主に、排水口が塞がれている、排水口が曲がっている、ゴミが詰まっている、虫が入り込み詰まっていることが考えられます。
また、室内機のフィルターが汚れていると結露が多く発生して排水がうまくいかず、水が垂れることがあります。



Q6 エアコンからポコポコ音がする

A6 室外と室内の気圧差が生じたときに起こります。
ドレンホースから逆流した空気がホース内の結露水を通るときに音が鳴ります。
窓を少し開ける、換気口を開ける、換気扇を止めると気圧差がなくなり音がしなくなります。

2 浴室の管理

浴室は一番カビの生えやすい場所です。
アカや石けんのカスはカビの絶好の栄養源です。
入浴終了後は、バスタブ、壁、床をよく洗い流し、浴室に湿気がこもらないように換気をしましょう。

空中に飛び散った小さい水滴にレジオネラ菌が含まれていると、レジオネラ肺炎（免疫力の低下している人は特に注意）を起こすことがあります。

24時間循環浴槽やシャワーが原因となることもあり特に注意が必要です。シャワーヘッドや循環式の24時間風呂では、ぬめりや汚れを取り除くなど、清掃や消毒を定期的に行うことが大切です。

こちらを参照 ⇒ [入浴施設におけるレジオネラ症防止対策](#)

Q1 冬場の事故について教えてください

A1

(1) 入浴関連事故で多いのは「ヒートショック」です。

「ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な温度変化によって、血圧が上下に大きく変動することをきっかけにして、体に負担がかかる現象のことをいいます。

(2) 長湯や高温での入浴により体があたたまることで血管が広がり、血圧が低下して体調不良（浴室内熱中症）が起こります。

(3) 家の中の温度差で起こることが知られています。

脱衣所や浴室の室温が低くならないよう、暖房器具を使って暖めておくのがおススメです。入浴中は換気扇を切ることも効果的です。

◎ 意外と知られていないのが浴室内の熱中症です。

冬場はつい長湯をし、自分でも気が付かない間に脱水症状を起こします。入浴前にコップ一杯の水、又はスポーツドリンクを摂取するように心がけましょう。

Q2 日頃の浴槽管理はどのようにしたらいいでしょうか

A2 浴槽水は、毎日、完全に換水し清掃することが原則です。

配管内部やシャワーヘッド内に生物膜が付着してしまうと、浴槽水やシャワー水がレジオネラ属菌に汚染され、最悪の場合、入浴した人がレジオネラ症（肺炎）を発症する恐れがあります。

また、浴槽水を循環使用する場合は、ろ過器等で皮脂や髪の毛を除去するとともに、使用水を塩素剤等で十分に消毒してください。

3 トイレの管理

トイレは特に汚染源になりやすい場所です。不適切なトイレの使用や汚れたままのトイレは、人の手を介して起こる食中毒や感染症の原因にもなります。

外国人客向けのトイレ使用ガイドを備えるとともに、宿泊客が入れ替わる度に丁寧に清掃しましょう。

また、室内に細菌やウイルスを持ち込まないためにも、トイレは専用の履物に履き替えるようにしましょう。

Q1 トイレの衛生を保つ方法を教えてください

A1 ①床 ②ドアノブ ③便座 ④水洗レバー ⑤トイレットペーパーホルダー
⑥トイレットペーパーなどが有害微生物（ウイルスや細菌）で汚染されている場合、手で触れると室外に持ち出すこととなりますので、手洗いは必ず行いましょう。

一般に、有害微生物は、トイレの換気扇から排出することは難しく、トイレの至る所に存在するため、トイレで用を済ませた後に室内に入れば、臭い、埃だけでなく、病原菌やウイルスを持ち込むことにもなります。清掃とアルコール消毒を毎日行い、定期的に換気しましょう。

また、トイレの換気扇には、ゴミや埃のほかに食中毒菌やウイルスも吸着することがあるため、定期的に清掃しましょう。

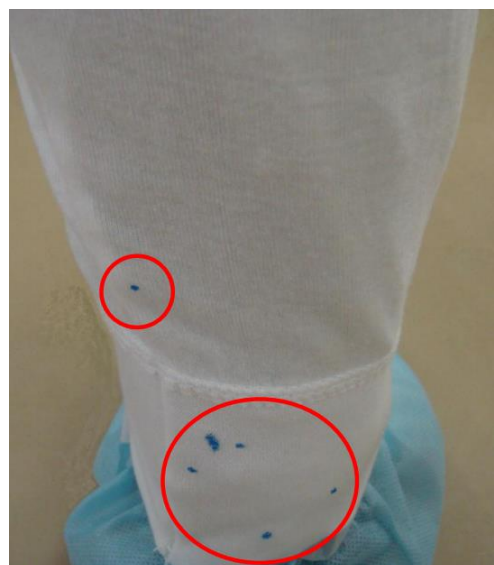
Q2 トイレを使った時の汚れはどうなっていますか

A2 トイレ汚れの実験結果があります。

和式トイレでの水様下痢便による跳ね返り実験（長野県北信保健福祉事務所）青色の水を水溶性下痢便に見立てて、和式トイレを使ってみました。



① かかと部分へのハネかえり



② 足の裾へのハネかえり



③ トイレ便器周辺へのハネかえり



④ 手のひらへの付着

【まとめ】

- ・和式トイレでは広範囲にハネかえりがあり、手にも付着することが分かりました。
- ・洋式トイレの方がハネかえりは少なかったが、上フタを閉めないで水を流した時に90cmも飛び跳ねたとの実験報告もあります。

4 台所の管理について

食中毒予防三原則(食中毒の原因菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」)を守りましょう。

また、生ごみが散乱しないよう、台所内に回収容器(三角コーナーなど)を設置し、排水トラップとともに、宿泊客が入れ替わる度に清掃しましょう。

Q 1 食品の取扱いについて教えてください

A 1 食中毒予防6原則を解説します。(出典：厚生労働省)



【食品購入の注意事項】

- ・食品の保存温度に注意
- ・消費期限（安全保証期限）
- ・賞味期限（おいしく食べられる期限）
- ・アレルギー物質の確認

point 2

家庭での保存

帰ったらすぐ冷蔵庫へ!

入れるのは7割程度に

肉・魚は汁が
もれないように
包んで保存

停電中に庫内温度に
影響を与える扉の
開閉は控えましょう

冷蔵庫は
10℃以下に
維持

冷凍庫は
-15℃以下に
維持



【保存】

- ・ 冷蔵室、冷凍庫の温度確認
- ・ 食品の保存温度に注意
 - 冷蔵は10℃以下
 - 冷凍は-15℃以下
- ・ 詰めすぎに注意
- ・ ドアの開け閉めに注意
 - すぐに閉めましょう
- ・ 見えにくい食材に注意
- ・ 液汁もれに注意



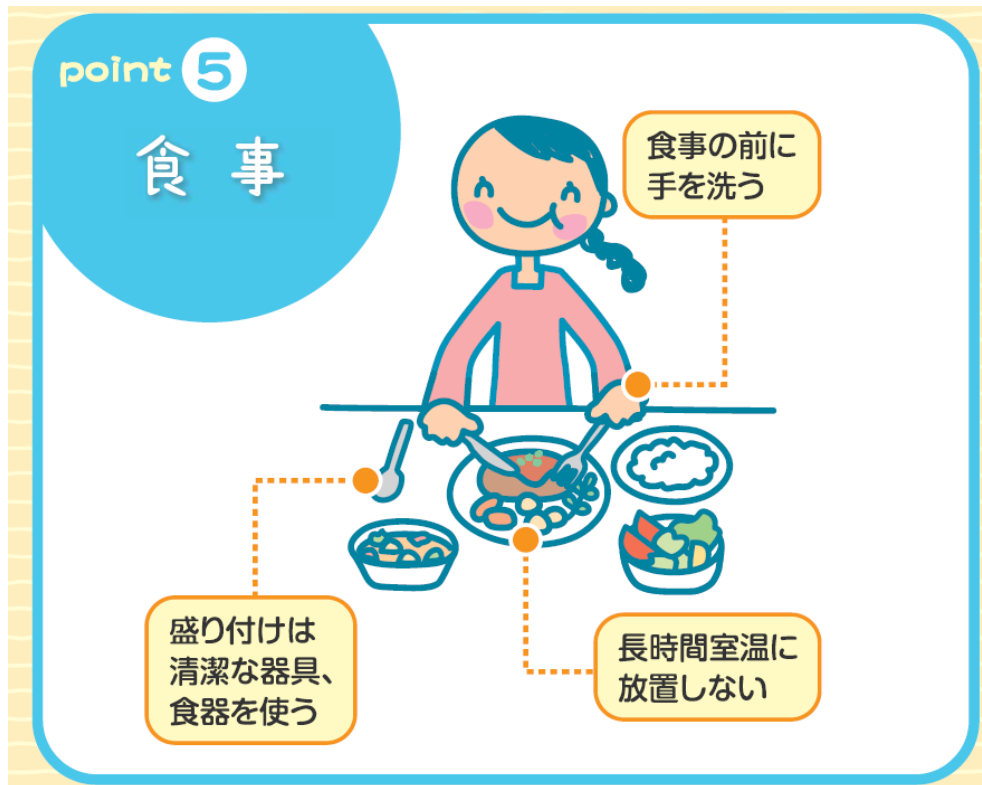
- ・ 食材に由来する細菌のコンタミネーション（交差汚染）を防ぐ。
- ・ 手洗い消毒を忘れないでください。



- ・ 中心部まで火がとっているか十分チェック
- ・ 調理後に食品を放置しない。

point 5

食事



point 6

残った食品



- ・加熱後に芽胞を作って生き残った菌が常温保管中に増え始め、十分に加熱しないと食中毒を起こすことがあります。カレーライス・シチューなどを温めなおすときは注意。

5 給水管理

「人の飲用、炊事用、浴用その他人の生活用」の水は、飲用適の水を利用しましょう。

給水栓で水の色、濁り、臭い、味に異常を認めたときは、原因を確認してすぐに対処しましょう。

Q 1 飲用適の水について教えてください

A 1 水道法に水質基準が定められています。

上水道にあつては、市町の水道局で水質が管理されています。

一方、井戸水や山水等を飲用に使う場合は、水質に注意が必要です。

大腸菌等の細菌がないこと、水の色・濁り・臭い・味に異常がないなど、飲用適であることを水質検査で確認する必要があります。

検査機関は、次の県ホームページに掲載しています。

【アドレス（井戸水などを飲用している皆様へ）】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/58/1179196562064.html>

6 排水管理

排水管や排水桝の漏水、排水不良がないか確認し問題があれば適切に改善しましょう。

浄化槽を使用する場合は浄化槽法に定められた維持管理に努めてください。

Q 1 排水に関わる問題について教えてください

A 1 民泊や家庭から排出する生活用水が浄化槽・放流・下水道へ淀みなく流れることが必要です。排水管等が詰まったり、漏水等で周辺環境に汚臭や衛生害虫等の発生を引き起こすことがあります。

II 衛生害虫等

1 ゴキブリ

衛生上の害のほか、温かく狭いところを好むため、配電盤をショートさせることもあります。また、精神的不快感を与えます。

【ゴキブリの駆除方法】

- (1) エサになる生ゴミはふた付きの容器やビニール袋等に入れて密閉しましょう。また、食品類は容器に保管しましょう。
- (2) 冷蔵庫、ガスレンジの裏側、調理台の引き出し、ゴミ容器、排水トラップ等は定期的に清掃しましょう。

(3) 毒餌や粘着トラップ（壁ぎわの物陰に置く）などで定期的な駆除が効果的です。

(4) よく見つかるゴキブリ

名 前	クロゴキブリ	ワモンゴキブリ	チャバネゴキブリ
体 長	3.5 cm	3.5 cm	1.5 cm
特 徴	黒色の大型種。 飛ぶことができる 春～秋、灯火を目ざして屋内に侵入します。	茶褐色の大型種。 水周りを好む	茶色の小型種。 乾燥に強く繁殖力が強い
生息場所	屋内外の両方に住みます。	湿潤した場所を好み、下水枡や排水口にひそんで夜間、台所などに現れます。	暖かい場所を好み、屋内の冷蔵庫の裏や食器棚内で活発に繁殖します。

2 ダニ

室内で発生して人を刺すダニ、畳やふとんにつくダニ、さらに食品中で発生するダニがいます。

ダニの体長は0.3 mm～0.6 mmで、普通、肉眼では見えません。

また、ネズミや野鳥に寄生して吸血するダニが室内に侵入することもあります。

【発生条件】

- ① 温度：25～30℃
- ② 湿度：60%以上
- ③ エサ：ヒトのフケ・アカ、カビ、食べこぼし等
- ④ 場所：湿気を適度に含む畳、布団、カーペット等

【駆除等】

床面に掃除機をかけることで、ダニやその糞、抜け殻、死がい（破片）、繁殖の原因になるエサなどを取り除くことができます。ダニだけでなく、その糞や破片には強いアレルギー性（アレルギーの原因になる性質）があるので、アレルギー対策として行う場合には、掃除機がけが必要です。

【ダニ生息場所の湿気対策】

- (1) 天気の良い日は布団を干し、よく乾燥させましょう。梅雨時期などは布団乾燥機を使用するとよいでしょう。
- (2) ダニで困っている家庭では、カーペットを敷くと通風が悪くなり湿度が高くなりダニやカビが発生しやすくなります。
- (3) 天気の良い日は窓を開け、部屋の風通しを良くして、畳など室内の湿気を取り除きましょう。

【マダニ】

マダニが媒介するウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」を予防するためには、マダニに咬まれないようにすることが重要です。

主に森林や草地などの屋外に生息しています。

出典：広島県感染症・疾病管理センター

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/sfts-yobou.html>



3 トコジラミ（南京虫）

夜間に行動することが多く、寝ている人の手や足、首など露出している部分から吸血し、強いかゆみと腫れが生じる場合があります。近年、都会を中心に被害が急増しています。

旅行カバンに潜んで持ちこんでしまうことがあるので注意しましょう。成虫の大きさは 5～8 mm で、色は茶褐色です。昼間は室内の狭いすき間（壁と柱の間、ベッドのすき間など）に潜んでおり、夜間に活動します。



クロゴキブリ



トコジラミ

出典：（公財）日本ペストコントロール協会 「有害生物写真集」

<https://www.pestcontrol.or.jp/download/tabid/208/Default.aspx>

Ⅲ ネズミ

ネズミは、ヒトの周りに住む有害動物の代表です。食中毒の原因菌や感染症の病原菌を媒介するだけでなく、家財や電線をかじるなど経済的な被害をもたらします。

身近に見られるネズミは次の3種類で、一年中見られます。

クマネズミ、ドブネズミ、ハツカネズミ



JAPAN PEST ASSOCIATION 公認 公認社団法人 日本ペストコントロール協会 Copyright (C) Japan Pest Control Association. All Rights Reserved.

クマネズミ：1

【ネズミの駆除方法】

- (1) 食料品、生ごみは容器に入れ放置しないようにしましょう。
- (2) 侵入を防ぐため配管周りのすき間をふさぎましょう。
- (3) 粘着トラップなどで捕獲しましょう。

こちらを参照 ⇒ [衛生動物に関する最近の動向](#) (一財)日本環境センター

Ⅳ ゴミ処理

ゴミは、焼却し灰にしてから埋め立てる可燃ゴミと、焼却に不向きな不燃ゴミに分別して収集する必要があります。

【チェックポイント】

(1) ゴミの分別と減量

住んでいる区市町村の定める方法に従って、きちんと分別を行いましょう。

(2) ゴミを出す際は、決められた方法（日時、場所、種類、ゴミ袋など）を守りましょう。

(3) 宿泊者へごみの取扱い方を説明するとともに責任をもって対処する必要があります。

周辺住民に迷惑が掛らないよう、ゴミの取扱いを丁寧に説明してください。

※ゴミ箱の掃除もしっかり行いましょう。

また、ゴミ箱のゴミはもとより、台所の生ゴミや冷蔵庫に放置された宿泊客の飲み残し等も、異臭やカビ、衛生害虫の発生の原因となります。これらのごみが廃棄されずに残っていれば、宿泊客の心証を損なうこととなりますので、宿泊客が入れ替わる度に清掃しましょう。



V 取扱者の衛生管理（手洗いと消毒）

定期健康診断を受けるなど自らの健康を保ってください。

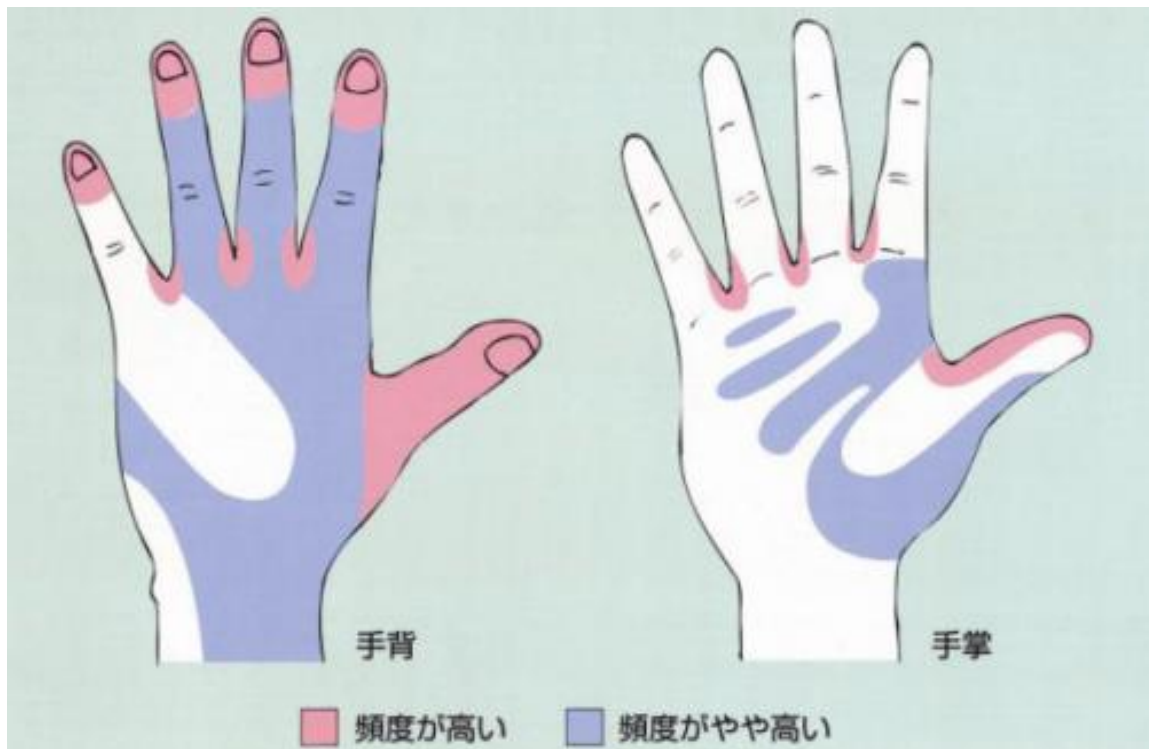
1 民泊の衛生状態をチェックしましょう。

こちらを参照 ⇒ [民泊自主管理チェック表（リンク）](#)

2 手洗いの方法

ノロウイルス10～100個が体内に入っただけで感染します。
手に付着したウイルスは、手洗いによって取り除く必要があります。
ノロウイルスには、アルコールはあまり効果がありません。

【汚れの残りやすいところ（手洗いミスの頻度が高いところ）】



【汚れが残りやすい場所】

- 指先，爪と皮膚の間，爪と指の甘皮部分
- 指の付け根
- 手のひらのしわ
- 親指の付け根
- 手首

できていますか？

衛生的な手洗い



2度洗いが効果的です!
2～9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

©公益社団法人日本食品衛生協会

[【英語表記】版は、こちらをクリック](#)

3 消毒の方法

(1) ノロウイルス食中毒対策

ノロウイルス食中毒（嘔吐・下痢）を予防するには、ウイルスが付着した怖れのある場所を洗浄等で表面をきれいにした後、消毒をすると効果が高まります。

こちらを参照 ⇒ ノロウイルス対策用消毒液の作り方（広島県）

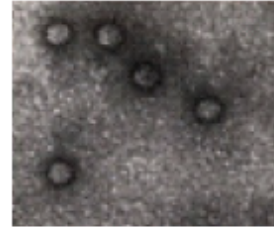
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/82462.pdf>

嘔吐物の処理を行う人は、マスク、手袋を着用し、慎重に処理しましょう。

ノロウイルス対策用消毒液の作り方

ノロウイルスは非常に小さく、どこに付着しているかわかりません。そのため知らず知らずのうちにノロウイルスに汚染された箇所に触り、感染し、また汚染を拡大してしまう場合があります。

ノロウイルスによる食中毒を防止するため、飲食店等施設内で人が直接触れる場所や物は定期的に消毒しましょう。



消毒液の作り方

- ▶ ノロウイルスに対しては、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤（濃度約5%）」に含まれています。
- ▶ ここでは、「家庭用塩素系漂白剤」を使用した、消毒液の作り方をご紹介します。
- ▶ ペットボトルを使用すると簡単に作ることができます（キャップ一杯が約5ml）

消毒液を使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方
ドアノブ、手すりなど、感染者が直接触れた場所・物	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml + 水 2.5ℓ (ノロウイルスのキャップ 2杯分) (500mlのノロウイルス 5本分)
嘔吐物、便等が直接付着した場所・物	1,000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml + 水 0.5ℓ (ノロウイルスのキャップ 2杯分) (500mlのノロウイルス 1本分)

消毒液を取扱う際の注意点

- ▶ 換気を十分に行ってください。
- ▶ 皮膚に対して刺激作用があるので、ビニール手袋等を使用してください。また、手指・皮膚の消毒には使用しないでください。
- ▶ 漂白作用があるので、色落ちが気になる衣類等には使用せず、他の方法（85℃以上の熱水消毒等）で消毒してください。
- ▶ 金属を腐食させる性質があるため、金属に使用したときは、念入りに水拭きしてください。
- ▶ 汚物（嘔吐物、便等）など有機物が残っていると消毒効果が低下するため、汚物はあらかじめ除去した上で、消毒してください。
- ▶ 消毒液は、時間の経過とともに効果が落ちることがあるため、その都度使い切りましょう。

(2) 新型コロナウイルス対策

【手洗いの徹底と3密（密閉・密集・密接）を回避することが重要です。】

インフルエンザの予防と同様に流水とせっけんでの丁寧な手洗いや消毒、せきやくしやみのしぶきを回りに飛び散らさない「せきエチケット」を続ける必要があります。体がしんどければ仕事を休むことや人混みを避けることも大切です。

＜主な感染経路である接触感染と飛沫感染を考慮した対策の例示＞ (地域の感染レベルに応じて見直すことがあります。)

●【受入時の注意喚起】

- 宿泊予約の受付時に新型コロナウイルス感染症様の症状（発熱、咳、息苦しさ等）がある場合は、宿泊を控えるよう告知することがあること。
- 入館時に発熱等の体調不良等について確認すること。
- 宿泊客に対して、共用部ではマスクを着用するよう伝える。

●【スタッフの管理】

- 健康チェックを徹底し、発熱等があれば勤務をしない。
- マスク等を着用し、手洗い等を励行する。

●【密閉に関すること】

- 窓やドアを開け、こまめに換気をしましょう。
- 家庭用エアコンは換気されないので、窓を開け外気を取り入れましょう。

●【密集に関すること】

- スタッフと宿泊客及び宿泊客同士の接触を避けましょう。
(2m以上離れることを目安)
- ロビー、浴場、食堂等では他の人と十分な距離をとりましょう。

●【密接に関すること】

- 近い距離で会話や電話を5分間すると、1回の咳と同じと言われています。
- 同居者にはマスク（サージカルマスク、布マスク等）の着用および触った後は、必ず手指の手洗いをするを伝えてください。

●【手などがよく触れる箇所に関すること】

- 手や口が触れる箇所は、洗浄し消毒用アルコール等で消毒をしましょう。
〔 テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、テレビ等のリモコン、蛇口、ごみ箱、トイレ、枕、浴衣、コップ、箸など 〕
- マスク（サージカルマスク、布マスク等）について、一度着用したものは、食卓などに放置せず、ビニール袋へ入れて廃棄するようにしてください。
- タオル等の共有は避けましょう。

●【総合的な管理に関すること】

- スタッフの咳エチケットや手洗いを励行し、健康管理に留意しましょう。
- 民泊利用者等に対して、咳エチケットや手洗い等の感染防止対策の実施に御協力をお願いしましょう。
 - ・マスクの着用
 - ・咳エチケットや手洗い等の感染予防対策
- 手洗いや消毒ができるよう、消毒用アルコールを準備しましょう。
 - ・消毒：0.05%～0.1%（500～1000ppm）の次亜塩素酸ナトリウム溶液（塩素系漂白剤）
消毒用エタノール（70%以上～95%以下）で清拭しましょう。
熱水処理（80℃10分間）
- 定期的に清掃・消毒を行い、施設の衛生維持を徹底しましょう。
使用した枕カバー、シーツ、浴衣、スリッパ、タオル等はすべて洗濯・消毒したものと交換しましょう。
- 宿泊者が発熱または呼吸器症状を呈し医療機関を受診する際には、保健所に連絡の上、受診を勧められた医療機関を受診するよう促してください。
 - ・緊急連絡先（付近の病院・保健所等）リストを作成し掲示しましょう。
 - ・外国人の受入れが可能な病院を確認しておきましょう。

<参考> [新型コロナウイルス感染症に係る情報リンク](#)

- 1 [宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第1版）](#)
- 2 [新型コロナウイルス接触確認アプリ（厚生労働省）](#)
- 3 [広島県新型コロナウイルス感染症に関する情報まとめサイト](#)
- 4 [ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合の注意ポイント（（一社）日本環境感染学会）](#)

【参考情報】

新型コロナウイルス対策に関する分かりやすいQ & A

[日本建築学会空気環境運営委員会 感染伝播と空気質WG（2021.12.5）](#)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| Q.1 感染経路にはどんなものが？ | Q.11 扇風機は換気になるの？ |
| Q.2 防止対策はどうすればいい？ | Q.12 パーティションの効果は？ |
| Q.3 感染リスクとは？ | Q.13 清掃・消毒はどうすればいいの？ |
| Q.4 マスクは効果あるの？ | Q.14 空間噴霧は効果あるの？ |
| Q.5 換気は何をどうすればいい？ | Q.15 空間噴霧は安全なの？ |
| Q.6 住宅の換気量は多いほどいい？ | Q.16 空気清浄機の選び方は？ |
| Q.7 CO2濃度を測る意味は？ | Q.17 空気清浄機はどう使う？ |
| Q.8 エアコンは換気できるの？ | Q.18 紫外線は室内で使えるの？ |
| Q.9 空調にはどんなものがあるの？ | Q.19 空調機内の紫外線は？ |
| Q.10 空調はどうすればいいの？ | Q.20 既存病室を陰圧化するには？ |
| | Q.21 既存診察室はどうするの？ |

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

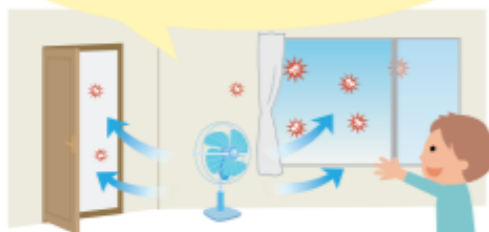
「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と
十分な距離を取る!



窓やドアを開け
こまめに換気を!



屋外でも密集するような
運動は避けましょう!

少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫

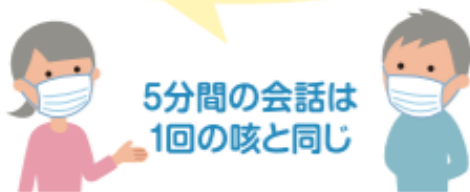


飲食店でも距離を取りましょう!

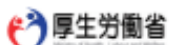
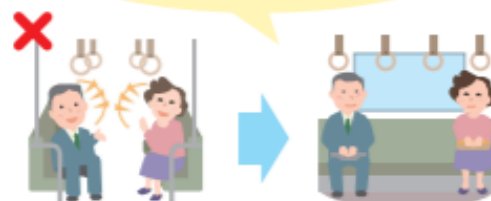
- ・多人数での会食は避ける
- ・隣と一つ飛ばしに座る
- ・互い違いに座る



会話をするときには
マスクをつけましょう!



電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう!



厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



【消毒液の作り方】

別紙「新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。」を踏まえ、手洗いを丁寧に行うことや、食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、熱水や塩素系漂白剤による方法が有効です。

新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った
丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100 万個
石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ	1 回	約 0.01% (数百個)
	2 回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、
アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤が有効です。

(新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効です)



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。
火傷に注意してください。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。
ハイター、ブリーチなど。
裏面に作り方を表示しています。

※目や肌への影響があり、取り扱いには十分注意が必要です。
※必ず製品の注意事項をご確認ください。
※金属は腐食することがあります。



(参考)

- 「新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。」
(厚生労働省啓発資料)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>

- 家庭でできる新型コロナウイルス感染症対策

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/59/corona-masuku.html>

0.05% (500ppm) の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方を掲載しています。

VI その他参考事項

参考

0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方



【使用時の注意】

- ・換気をしてください。
- ・家事用手袋を着用してください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。
- ・商品パッケージやHPの説明をご確認ください。

以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。
商品によって濃度が異なりますので、以下を参考に薄めてください。

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター キッチンハイター	水1Lに本商品 25mL (商品付属のキャップ1杯)* ※次亜塩素酸ナトリウムは、一般的にゆっくりと分解し、濃度が低下して いきます。購入から3ヶ月以内の場合は、水1Lに本商品 10ml (商品 付属のキャップ1/2杯)が目安です。
カネヨ石鹼	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)

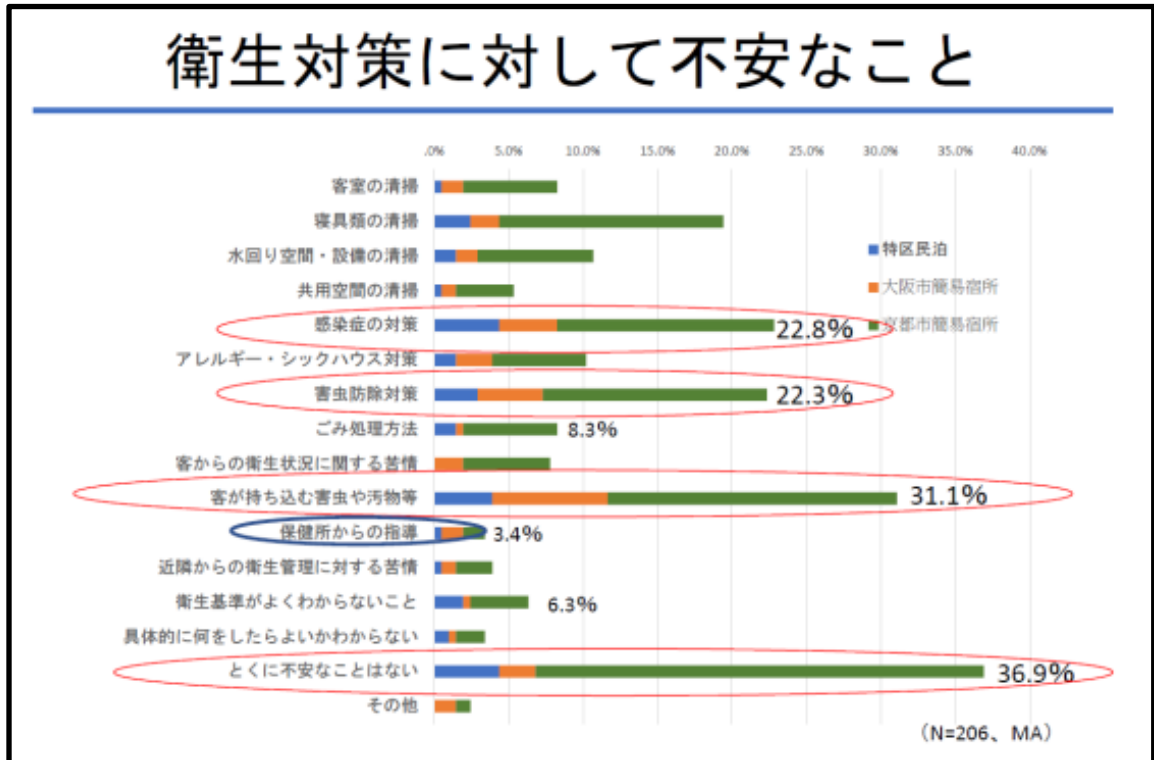
(プライベートブランド)

ブランド名 (五十音順)	商品名	作り方の例
イオングループ (トップバリュ)	キッチン用漂白剤	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
西友 / サニー / リヴィン (きほんのき)	台所用漂白剤	水1Lに本商品 12mL (商品付属のキャップ1/2杯)
セブン&アイ・ ホールディングス (セブンプレミアム ライフスタイル)	キッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)

※上記のほかにも、次亜塩素酸ナトリウムを成分とする商品は多数あります。
表に無い場合、商品パッケージやHPの説明にしたがってご使用ください。

○ 民泊サービスにおける衛生管理

(出典：平成30年度生活衛生関係技術担当者研修会 国立保健医療科学院)



民泊の衛生上の問題点

建物由来	清掃由来
<ul style="list-style-type: none"> • 室内に設置された給湯器 • 中廊下に設置された給湯器 • エアコン後施工によるめしあわせ部の隙間 • エアーベッドによる冷気 • ベッドシーツが無い • 元店舗改装による居住環境への影響 	<ul style="list-style-type: none"> • エアコンフィルターの汚れ • 冷蔵庫内部の食品（飲みかけの水・ケーキ） • シーツのホコリっぽさ • 虫（くも・ゴキブリ） • 異臭（キッチン下・居室） • 前泊者の衣類 • 使用済み歯ブラシ • 窓サッシの汚れ・カビ跡

※ 調査施設数 10件